

Design your own road

WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画
WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)
受付時間: 9:30~17:00 (月~金曜日)
HP: <http://whill.jp/contact>

WHILLの月刊誌

WHILL MAGAZINE

2017
JUN.

6





お客さまインタビュー

Mr. & Mrs. Kuma

VOLUME. 18

熊さんご夫妻

もっと健康で 長生きしたいと 思うようになりました。

WHILLで仲良く買い物や外出を楽しんでいる熊夫妻。

奥様は2017年1月より介護保険を利用してレンタルされ、
ご主人は、2017年3月にご購入されました。

WHILLのある生活について、奥様にお話を伺いました。

WHILLご利用のきっかけ

20年程前に行った椎間板ヘルニアの手術の影響で、近年歩くことが難しくなり、その時に娘がインターネットでWHILLの存在を見つけて教えてくれました。ただ、当時はまだ運転できるかどうかで悩み、どこで試乗していいかも分からず、すぐに購入には至りませんでした。外出が自由に出来ずにもやもやとしたまま2年が経った頃、担当して頂いているケアマネジャーさんからWHILLが介護保険レンタルで借りられると聞き、すぐに試乗してレンタルを開始しました。主人も膝に痛みが出てきたり、少しの歩行で息切れしてしまったりと、だんだん遠くへ外出するのが難しくなっていたのですが、私のWHILLを見て気に入り、購入に至りました。



二人のお嬢様と一緒に

WHILLの気に入っているところ

デパートへの買い物や、友達の家でのおしゃべり、カルチャーセンターへお琴を習いに行くなど、とにかく全てがWHILLに乗ると気の赴くまま自由に行けるところです。



主人も外出が楽しくなってきたみたいで、もっと健康で長生きしたいと思うようになり、今ではNHKの体操番組を見ながら体操を頑張っています。この前などは、姿が見あたらないと心配していたら、一人で美術館に行っていました。(笑) 自分のペースで楽しみながら絵画を鑑賞できるのもいいみたいです。

WHILLが来て大きく変わったこと

とにかく外出することが増え、毎日デパートに買い物に行くようになりました。もうすっかり自転車感覚になっています。今では娘の方が私のWHILLのスピードについて来られず、汗だくになっているぐらいです。主人は、雨の日だといつ止むのかと心待ちにして窓から外を眺めるくらい、WHILLでの外出が待ち遠しいみたいです。もうWHILLに乗ることが趣味といった感じです。



WHILL Model C開発秘話

STORY OF MODEL C

テクニックを必要としない 「分解」を目指しました。

今年4月に発表した「WHILL Model C」。今月号からはModel Cの開発秘話について紹介していきます。今月号のテーマは「分解機能」、Model Cの大きな特徴です。工具を使わず3つに分解が可能で、ほぼどんな自動車にも簡単に積載することが可能になりました。この「分解機能」を実現するための設計作りに携わった3人のエンジニアに、開発過程について話を聞きました。



写真左から：平田、上月、ヨシ（機械技術部）

分解機能を採用したのはModel Aのお客様の声から

Model Cの開発は2015年の春に開始しました。Model Aに関して「車載したい」「置き場所がない」といったユーザーの声を受けて、Model Cのコンセプトは「ポータビリティ」に決定しました。簡単に分解できて、狭い玄関や車のトランクなど、どこにでも置けることを実現すべく製品づくりをスタートさせました。



「レバーを引いて、パーツを外す」

Model Cはただこの動作だけで、3つに分解することができます。誰でも手順通りやればできる簡単な分解のために、私たちは以下のポリシーを持って製品開発をしてきました。

「ながら動作」と「両手が必要な動作」を極限まで減らす

シートを持ち上げる以外、全て片手で分解できることを目指しました。「何かをしながら、他の動作をする」という「ながら動作」はそれだけでユーザーにとって複雑な手順になってしまうと、私たちは考えます。レバーを引いて分解したとき、後輪と転倒防止バーでメインボディが自立するので、ドライブベースを外すとき、メインボディが倒れるのを気にしなくていいんです。組み立てるときも引っ掛けて、メインボディを倒すだけ。

ユーザーミスをゼロにする

分解を可能にするためには、分解した接続部分を多くのネジやピンを使って固定する必要があります。しかし、小さいネジやピンを外す工程があると、それらを無くしたり、つけ忘れたり、使う人によるミスが発生する原因となります。そのようなトラブルを減らすために、細かい部品を外すような手順は避けました。シートとメインボディの接続部分にはマグネットコネクタが採用されており、磁石の力で正しく接続されるので、ミスなく簡単に付け外しかできます。

分解できるのに、安定した走り

そもそも安定性のある車体と簡単な分解機能はトレードオフの関係にあります。分解機能のある製品を実現するためには、まずガタつきの解消が必要でした。簡単に分解ができるということ、ガタつきのない安定感の両立は非常に大変でした。シートとメインボディの接続部分では、分解によって生じる前後左右回転全ての揺れを、ひとつひとつ全て解消していくのにかなりの根気が必要でした。Model Cの簡単な分解機能からは想像できないほどの、安定したスムーズな走りを是非体験していただきたいです。

NEWS

WHILL Model CKが 介護保険レンタル 対応になりました

WHILL Model CKは福祉用具の評価、判定を行うテクノイド協会が管理するTAISコードと貸与マークを取得いたしました。これにより、全国の多くの自治体で介護保険制度における福祉用具レンタルの適用が可能となります。こちらの制度を利用すれば、負担の少ない月額料金でのレンタルが可能になります*。介護保険レンタルをご希望の方は、WHILLコンタクトデスク(0120-062-416)、お近くの市町村介護保険窓口、ご担当のケアマネジャーにご相談ください。

*制度利用には要介護度などの基準があります。

